

京都における地域金融機関の特性と強さ

— 地域との共生を求めて —

森 協 譲

京都の地域金融機関についての課題研究である。京都府に本店を置く地方銀行の京都銀行、及び京都中央信用金庫、京都信用金庫、京都北都信用金庫の3信用金庫の4つの地域金融機関を研究対象にして京都の地域金融機関の特性と強さの検証を行うものである。

第1章は、「地域金融機関とは」という内容で、第1節、「地域金融機関の定義」では大手行と地域金融機関の違い、地域金融機関の本質、役割等を解説した。第2節、「リレーションシップバンキング」では金融庁によって策定された2003年4月から2005年3月末までの第一次リレバン、2005年4月から2007年3月末までの第二次リレバンについての内容と説明を記述。第3節、「今後の地域金融機関の在り方と課題」では金融庁が2007年2月～4月にかけて行った「中小・金融機関に対する利用者等の評価に関する第4回アンケート調査」の回答より今後の地域金融機関の在り方と課題について記述、説明を加えた。

第2章は、「京都における地域金融機関の再編成」という内容で、第1節において「京都の金融機関再編史」ということで、戦前、戦後から今日に至るまでの京都の地域金融機関の再編の歴史を記述。合併、統合を検証した。第2節、「京都における地域金融機関の破綻」において、バブル崩壊後の京都の地域金融機関の経営破綻とその後の結末を記述し、現在に至る変遷を説明した。

第3章は、「京都における地域金融機関の現状」という内容で、第1節、「京都における地域金融機関のシェア」において各業態ごとに預貯金、貸出金の京都府内におけるシェアを記述、京都の地域金融機関のシェアの高さを示した。第2節、「京都の4地域金融機関について」において、京都銀行、京都中央信用金庫、京都信用金庫、京都北都信用金庫の4つの京都地区の地域金融機関の沿革、経営理念、現状の決算内容、リレバンの取組方針等を紹介し、4金融機関の現状と特色を記述した。

第4章は、「京都における地域金融機関の特性と強み」という内容で、第1節、「京都における地域金融機関の特性」において、政令指定都市のある14都道府県及び近隣の大阪府、兵庫県と人口、法人数、世帯数及び金融機関のシェア等を比較し、京都の地域金融機関、特に信用金庫のシェアの高さ、優位性を記述した。第2節、「京都における地域金融機関の強み」において、歴史、行政と関係、地元産業との関係、信用金庫の営業政策等を解析、記述した。

おわりににおいて、京都の4地域金融機関の地域に応じた営業戦略、融資商品等を紹介し、今後の地域金融機関の生き残り策を記述した。